

議発憲改ようめ止

憲法集会各地で人の波



「安倍政権を倒す」と声を上げる集会参加者。3日、国会正門前

憲法公布73年の3日、安倍政権がねらう改憲に反対する行動が各地で取り相れました。国会正門前で「総がかり行動実行委員会」などの団体が呼びかけた憲法集会には1万人（主催者発表）が参加。市民や野党の代表が「改憲発議阻止」と声をあげました。

↓関連の①②③面

国会前
1万人

国会周辺は「止めよう！改憲発議」などと書かれたプラカードを手にした人の波ができました。埼玉県三郷市の坂口遊子さん（88）は、孫が生まれ、より平和への思いが強くなったと話します。「日本を戦争する国にさせたくありません。改憲を許さないために行動してきます」

主催者あいさつした後がかり行動実行委員代表の小田川義和さんは、世論をさらに大きくして国会を包囲し安倍改憲を阻止しようと呼びかけました。英語民間試験を延期させたことに対し、「声をあげれば政治を動かすことができます」と強調しまし

た。大臣の辞任は腐敗の現れだとのべ、「見過ごせば民主主義の劣化、権力

1/4 五旗

者のさらなる暴走につながる。声をあげ続けていこうと呼びかけました。野党から日本共産党の殺田二衆院議員、立憲民主党の遠坂誠二衆院議員、社民党の福島瑞穂参院議員がスピーチ。「市民と野党のは、ヘイトスピーチなどで嫌韓をあおり改憲へ突き進む安倍政権について、東アジアの平和の動きにも逆行する。日韓市民が連帯して憲法を守る」と述べ、性暴力を許さないフアラフアラを呼びかけた作家の北原みのりさんは「今の政治は声を聞かない政治です。痛みに寄りそって、強く優しい民主主義をめざしたい」と語りました。

代表のバク・ソングンさん

ました。

反戦平和の志継ぐ



「安倍9条改憲NO!」を訴える憲法集会参加者＝3日、国会正門前

高2「ひどいぞではない」

日本国憲法公布から73年を迎えた3日、安倍政権による改憲阻止などを求めて国会正門前に1万人が駆け付けた「11・3

11・3 憲法集会

憲法集会。「改憲反対、9条変えるな」「みんなの力で政治を変えよう」など熱気あふれるコールに包まれました。

国会前

親に誘われて参加した高校2年の女子生徒
「横浜市」は「9条改

憲に反対して高校生が行動していることを、SNSで知っていました」といいます。今年6月に沖縄を訪れた修学旅行の平和学習で、同年代が戦争に駆り出され、巻き込まれたことを知り、「ひどいぞではない」と感じまし

た。「そんな社会に向かってはいけない。学ばないといけない」と話しました。再び戦争と暗黒政治を許さないとの思いで「治安維持犠牲者国家賠償要求同盟」の旗をもっていた櫻本よう子さん(68)「埼玉県

志を継ぐ」と声をかけられました」と意を強くします。閣僚の連続辞任、教育の機会均等に反する文部科学相の「身の丈」発言などに憤り、「怒、もう無理 安倍やめろ」のポスターを掲げていました。「安保法制違憲訴訟の原告です」という小野洋さん(68)。東京都葛飾区亀有地域で活動する「かめの子9条の会」のほりをもつて参加しました。自衛隊が海外で戦争できるようにするため改憲強行を狙う安倍首相に対し、「9条があるから平和に生活をすることができます。孫のために憲法を守る」と話しました。絵本作家や保育園の保育士、図書館職員など集まる「子ども本・9条の会」の岩本和博さん(71)「東京都目黒市」は「子どもたちの将来のために絶対に戦争を阻止し、9条を受け渡さなければいけない。改憲発議可能なる分の2を、参院選で押し戻したのは共闘の力です。もっと盛り上げていく必要があります」と話っていました。